

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 経営支援課	内田 正樹
施策名	1 成長分野の新産業創出・育成	事業群関係課(室)		
事業群名	④ 高齢化社会に対応するヘルスケア産業の振興	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	6,509

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)				(取組項目)						
超高齢社会や健康意識の高まりを背景に、今後の成長が見込まれるヘルスケア産業において、異業種連携によるサービスの複合化や地域資源の活用等により、健康寿命延伸につながる付加価値の高いヘルスケアサービスの創出を促進し、成功事例を広く普及させることで、本県のヘルスケア産業の底上げを図ります。				i)ヘルスケア関連分野の新たなサービスの事業化の支援						
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	支援事業者のうち、前年比で売上がアップした事業者の割合	目標値①	/	100%	100%	100%	100%	100%		100% (R7)
		実績値②	—	20%	/	/	/	/		進捗状況
		達成率②/①	/	20%	/	/	/	/	遅れ	
									<p>超高齢社会の到来や健康意識の高まりを背景に、今後の成長が見込まれるヘルスケア産業(公的保険を支える公的保険外サービスの産業群)において、異業種連携によるサービスの複合化や地域資源の活用等により、健康寿命延伸につながる付加価値の高いヘルスケアサービスの創出を目指し、新サービスの事業化を支援した。</p> <p>令和3年度においては、県内事業者等を対象に先進事例セミナーや多様な事業者間の連携を促すワークショップを3回開催したほか、新たなヘルスケアサービスの事業化に取り組む事業者チーム7者を組成した。また、チームに対し、必要に応じて専門家を延べ13回派遣し、事業計画策定・実践を支援した。</p> <p>事業化にあたっては、サービス内容の磨き上げや今後の取引量の増加に繋げるため、一定規模を有する事業者や先進的な技術・知見等を有する事業者等と県内事業者との連携を促進した。</p> <p>令和2年度に支援した事業者のうち、売上がアップした割合が20%に留まった理由について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、顧客となる消費者の消費意欲や事業所の活動の縮小等が要因となり、サービス利用の落ち込みが見られた。</p> <p>これまでの取組を踏まえ、令和4年度からは、業種や分野は限定せず、ヘルスケア産業を含め、「県外需要獲得」、「生産性向上」等に取り組む事業者のうち、高い意欲と潜在力を持ち、地域経済への波及効果が期待できるサービス産業事業者等に対して、事業計画策定から実践までの伴走支援を行い、成功モデルの創出を目指す。</p> <p>なお、令和3年度に支援を行った事業者については、令和3年度と令和4年度の売上の比較を行うため、事業群としての指標の実績値の把握時期は令和5年度となる。</p>	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和3年度事業の実施状況 (令和4年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和3年度事業の成果等
				R2実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R2目標	R2実績	達成率	
				R3実績					R3目標	R3実績		
				R4計画	R4目標							
事業実施の根拠法令等				事業実施の根拠法令等								
事業期間				法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象					
所管課(室)名												
取組項目 i	○	1	ヘルスケア産業創出促進事業	6,386	3,636	7,042	超高齢社会の到来や健康意識の高まりを背景に、今後の成長が見込まれるヘルスケア産業における新たなヘルスケアサービスの創出に向けて、多様な事業者間の連携を促し、運動、旅行等の分野で事業化を目指す事業者チームの取組7件を支援した。	【活動指標】	4	5	125%	●事業の成果 ・支援した取組については、ウォーキングと婚活イベントの掛け合わせや、ウォーキングと温泉の掛け合わせによる新たなサービスについて、それぞれ、実証イベントを開催するなど、事業者による具体的な動きにつながっている。引き続き、事業の発展に向けたフォローアップを行い、必要な支援を行っていく。 ●事業群の目標達成への寄与 ・コロナ禍の影響を受けたものの、取組を継続することにより、今後の売上向上に寄与することが期待される。
				6,509	3,484	7,011		支援したチーム数(チーム)	4	7	175%	
								【成果指標】	100	25	25%	
			(R3終了)H31-R3					支援事業者のうち、前年比で売上がアップした事業者の割合(%)	100	20	20%	
			経営支援課	—	—	—	県内企業等	100				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	ヘルスケア関連分野の新たなサービスの事業化の支援
●実績の検証及び解決すべき課題	●課題解決に向けた方向性
消費者にとって魅力的で付加価値の高いヘルスケアサービスを提供するためには、異業種連携や地域資源(食や観光資源等)の活用が重要である。そのため、本事業においては、異業種連携や地域資源を活用したヘルスケアサービスの先進事例セミナーと、関心のある事業者同士による新たなサービス検討を促すワークショップを同日に開催することで、事業者の意識を醸成するとともに、事業者間の連携を促進する仕組みとしている。また、ワークショップの開催に先立ち、県内事業者がどのような課題を抱えているのか、ヘルスケア分野でどのような取組を行いたいのか、アンケートやヒアリング等により調査し、支援対象事業者の掘り起こしを進めてきた結果、様々な事業者が連携した取組に繋がっている。一方、本事業において新たにヘルスケアサービスに取り組む事業者の企業規模が小さく、規模拡大が難しい。ヘルスケア分野は一般的に成長が見込まれるが、本県事業者の課題や成長性は、分野よりも個々の取組内容やビジネスモデルに左右される傾向が強い。このため、本県サービス産業の振興という観点からは、より有効な対策が求められている。	今後は、ヘルスケア産業を含め、「県外需要獲得」、「生産性向上」等に取り組む事業者のうち、高い意欲と潜在力を持ち、地域経済への波及効果が期待できるサービス産業事業者等に対して、事業計画策定から実践までの伴走支援を行い、成功モデルの創出を目指す。ヘルスケアの取組を支援した事業者については継続してフォローを行い、必要に応じて支援を実施する。

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	ヘルスケア産業創出促進事業	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載  R3終了事業のため記載なし	—	—	—
			(R3終了)H31-R3				
			経営支援課				

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点